

平成26年度 実施計画・事務事業評価（事前評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	教育部	課等名	教育総務課	記入者名	西鶴浩二	内線	329
事務事業名	情報教育充実事業		事業期間	平成27年度～平成30年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	歴史と文化の香りが暮らしを彩る教育と住民自治のまちづくり					
	施策	義務教育の充実					
	細施策	情報教育の充実					
根拠法令・条例、関連計画等							
予算細々目名				会計	款	項目	細目
小学校教育設備整備事業費				01	10	02	007
中学校教育設備整備事業費				01	10	03	007

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

全児童生徒に情報社会に主体的に対応できる「情報活用能力」を身に付けるさせるために、教師用パソコンや教材提示装置（書画カメラ）等ICT機器を活用した授業が行えるよう、出力装置（電子黒板、電子黒板機能付きプロジェクタ・スクリーン）の整備を行う。電子黒板のメリットとしては、画面の拡大や直接画面にペンで書き込むことが可能であり、図形を動かしたり、写真を大きく見せてポイントを示したりすることができる。

3 事務事業の概要

H27年度の事業計画	H28年度の事業計画	H29年度以降の事業計画
電子黒板の購入 各小学校6学年教室 22台	電子黒板の購入 各中学校3学年教室 18台	電子黒板機能付きプロジェクタ・スクリーン 各小学校3～5学年教室 20台 各中学校1～2学年教室 13台
電子黒板機能付きプロジェクタ・スクリーン 各小学校3～5年 37台 (うち特別支援教室2台)	電子黒板機能付きプロジェクタ・スクリーン 各中学校1～2年 22台	

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
児童・生徒及び教職員	電子黒板等の購入、リース
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
ICT機器を活用した授業を展開し、児童・生徒の情報活用能力の向上を図る。また、デジタル教材の活用を図ることで、授業内容の質の向上と教材作成の効率化を図る。	

事務事業評価（事前評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	29年度目標	最終目標	
								年度	目標値
活動指標	① 電子黒板設置台数	台	0	0	22	40	-	28	40
	② 電子黒板機能付きプロジェクター式	台	0	0	37	59	79	30	92
成果指標	① 電子黒板普及率	%	-	-	56.0	100.0	-	28	100.0
	② 電子黒板機能付きプロジェクタ普及率	%	-	-	40.2	64.1	85.8	30	100.0

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

2 事務事業の目的

緊急性	いつまでに実施しなければならないのですか	
	平成 30 年度まで	理由 国はH25年度までに整備することを目標にしており、早急に整備する必要がある。
妥当性	意図は妥当ですか（「4 事務事業の対象・手段・意図」欄の意図について）	
	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	理由 情報通信技術の進展に伴い、パソコン、タブレット、電子黒板、プロジェクター等の有効活用を検討することが望まれており、意図は妥当である。
効率性	既存事業の拡大では対応できないですか	
	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	理由 情報活用能力の向上を図るためには、ICT機器の整備を充実させ、実際に児童・生徒及び教職員に使用させることが必要であるが、教育費予算枠内での整備は限界があり、他のICT機器（書画カメラ等）の整備もあるため対応できない。
その他	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	理由 市立学校で教育用として使用する設備であることから、すべて公費負担が妥当である。
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	別紙のとおり	

3 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	ICT機器を活用した授業を展開するために導入が必要である。

4 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input checked="" type="checkbox"/> 実施しない	県内19市の電子黒板保有率は各学校に1台程度が現状であることから、他市の活用状況、導入効果等を検証したうえで検討する必要があるため、次年度での導入は実施しない。

5 今後の方向性、改善案等（最終評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 実施する <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	各学校1台程度導入し、導入効果の検証を十分に行うこと。検証を行ったうえで各学年へ導入するなど、導入計画を立てて実施すること。

